



2024年8月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)

2024年10月15日
東

上場会社名 株式会社INGS 上場取引所
コード番号 245A URL https://ingsinc.co.jp
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 青柳 誠希
問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理部長 (氏名) 鈴木 建 (TEL) 03(6205)5039
定時株主総会開催予定日 2024年11月29日 配当支払開始予定日 —
有価証券報告書提出予定日 2024年11月29日
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有 (当社ホームページに決算説明動画を掲載予定)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年8月期の業績(2023年9月1日~2024年8月31日)

(1) 経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年8月期	6,418	22.0	450	59.2	425	60.2	285	319.1
2023年8月期	5,261	50.8	283	508.4	265	△46.5	68	△68.0

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年8月期	142.95	—	45.6	13.4	7.0
2023年8月期	34.11	—	15.2	9.5	5.4

(参考) 持分法投資損益 2024年8月期 -百万円 2023年8月期 -百万円

- (注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの、当社株式は非上場であったことから、期中平均株価が把握できないため、記載していません。
2. 2024年6月18日付で1株につき20株の株式分割を行っておりますが、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり当期純利益を算出しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年8月期	3,451	770	22.3	385.13
2023年8月期	2,892	484	16.7	242.18

(参考) 自己資本 2024年8月期 770百万円 2023年8月期 484百万円

- (注) 2024年6月18日付で1株につき20株の株式分割を行っておりますが、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たりの純資産を算出しております。

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年8月期	665	△434	113	1,005
2023年8月期	397	△394	68	661

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産 配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭			
2023年8月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2024年8月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2025年8月期 (予想)	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—

3. 2025年8月期の業績予想（2024年9月1日～2025年8月31日）

（%表示は、対前期増減率）

通 期	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
	7,896	23.0	506	12.4	472	11.0	301	5.4	120.02

（注）1株当たり当期純利益については、公募株式数（432,000株）及びオーバーアロットメントによる
売出しに関する第三者割当増資分（80,500株）を含めた予定期末発行済株式数により算出しております。

※ 注記事項

（1）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| ④ 修正再表示 | : 無 |

（2）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年8月期	2,000,000株	2023年8月期	2,000,000株
② 期末自己株式数	2024年8月期	－株	2023年8月期	－株
③ 期中平均株式数	2024年8月期	2,000,000株	2023年8月期	2,000,000株

（注）2024年6月18日付で1株につき20株の株式分割を行っておりますが、前事業年度の期首に当該株式分割
が行われたと仮定し、上記の株式数は算出しております。

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項につきましては、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法）

当社は2024年10月15日（火）に決算補足説明資料をT D n e tで開示し、開示後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 財務諸表及び主な注記	5
(1) 貸借対照表	5
(2) 損益計算書	7
(3) 株主資本等変動計算書	8
(4) キャッシュ・フロー計算書	9
(5) 財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(表示方法の変更)	10
(セグメント情報等)	10
(持分法損益等)	13
(1株当たり情報)	14
(重要な後発事象)	15

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当事業年度(2023年9月1日から2024年8月31日)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症に関連した行動制限が収束し、感染症法上の位置づけが2023年5月より従来の2類から5類に引き下げられたこと、海外からの入国制限緩和等から、インバウンド消費もコロナ禍前を超えるような状況となっており、正常な経済活動に戻ってきている状況となっております。一方、ロシア・ウクライナ情勢の長期化や、円安の影響によるエネルギーコスト及び原材料価格の高騰、それに伴う物価の上昇など、景気の動向は依然として不透明な状況が続いております。

当社が属する外食業界におきましては、経済正常化に伴う人流回復により、客数は引き続き回復傾向にある一方で、上述の原材料及びエネルギー価格の上昇や労働力不足に伴う人件費の上昇、円安の進行等、引き続き厳しい経済環境が継続している状況となっております。このような状況の下、当社は、原材料高等を踏まえましたメニューの変更や、価格の見直し、店舗運営におけるオペレーションの見直し等を行いながら、対応を図っております。

(ラーメン事業)

ラーメン事業におきましては、直営店では、「らぁ麺 はやし田」町田店、新秋津店、浅草店及び「日本油党」町田支部、八王子支部の5店舗をオープンしており、合計31店舗となりました。油そばブランドの「日本油党」については、八王子支部の出店で3店舗目の出店となります。

その他取り組みとしましては、2023年9月の値上げに加え、売上高対策として、一部店舗の営業時間を延ばしたこと、また、サイドメニューのコスト削減等を取組みとして行っております。そのような中、既存店売上高は前年同期比で104.2%の結果となりました。

プロデュース店では、新規で16店舗がオープンしておりますが、6店舗閉店もあり、合計69店舗となりました。なお、出店エリアにつき、兵庫県、石川県、愛知県で初出店となっており、引き続き、地方での展開が広がっている状況となっております。

この結果、ラーメン事業の売上高は3,290,437千円(前年同期比23.1%増)、セグメント利益は332,571千円(前年同期比47.6%増)となりました。

(レストラン事業)

レストラン事業におきましては、直営店では、「CONA」津田沼店及び「焼売のジョー」にて八王子店、千葉店、町田2号店の4店舗が新規オープンしており、「CONA」では合計18店舗、「焼売のジョー」では合計13店舗となりました。

なお、ライセンス店では、「CONA」で三重県、東京都と2店舗オープンしておりますが、1店舗閉店もあり、合計28店舗、「焼売のジョー」は増減なく、合計3店舗となっております。

その他取り組みとしましては、「CONA」では2024年2月末の値上げに加え、CONA恵比寿店の昼時間帯で営業をしている「YAMADA PASTA」においても2024年3月に値上げを行っております。また、「焼売のジョー」では、一部店舗において、ハッピーアワーにおける商品価格の調整を行いながら、売上の向上及び原価のコントロールを図っております。そのような中、既存店売上高は前年同期比で110.3%の結果となりました。

この結果、レストラン事業の売上高は3,128,144千円(前年同期比20.8%増)、セグメント利益は118,021千円(前年同期比104.4%増)となりました。

(全社)

上記の結果、当事業年度の業績は、売上高6,418,581千円(前年同期比22.0%増)、営業利益450,592千円(前年同期比59.2%増)、経常利益425,890千円(前年同期比60.2%増)、当期純利益285,899千円(前年同期比319.1%増)となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当事業年度末における総資産は、現金及び預金が339,311千円、新規出店に伴い建物（純額）が194,200千円、敷金及び保証金が72,229千円増加した一方で、償却によりのれんが90,299千円減少したことなどにより、3,451,074千円（前事業年度末比558,481千円の増加）となりました。

(負債)

当事業年度末における負債は、1年内返済予定の長期借入金が106,312千円、未払費用が54,284千円、未払法人税等が91,890千円、長期借入金が241,102千円増加したものの、社債が98,000千円、長期未払金が123,257千円減少したことなどにより、2,680,820千円（前事業年度末比272,582千円の増加）となりました。

(純資産)

当事業年度末における純資産は、当期純利益285,899千円を計上したことにより770,254千円（前事業年度末比285,899千円の増加）となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度末における現金及び現金同等物は、前事業年度末と比べて344,311千円増加し、1,005,752千円となりました。

当事業年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当事業年度における営業活動によるキャッシュ・フローは665,665千円の収入となりました。（前事業年度は397,928千円の収入）

主な増加要因は、税引前当期純利益442,055千円、減価償却費125,410千円、のれん償却額90,299千円、仕入債務の増加額36,585千円、未払費用の増加額54,284千円などであり、主な減少要因は、法人税等の支払額67,983千円などであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当事業年度における投資活動によるキャッシュ・フローは434,958千円の支出となりました。（前事業年度は394,496千円の支出）

主な増加要因は、有形固定資産の売却による収入8,000千円などであり、主な減少要因は、有形固定資産の取得による支出344,931千円、敷金及び保証金の差入による支出82,137千円などであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当事業年度における財務活動によるキャッシュ・フローは113,604千円の収入となりました。（前事業年度は68,863千円の収入）

主な増加要因は、長期借入れによる収入836,120千円などであり、主な減少要因は、長期借入金の返済による支出488,705千円、社債の償還による支出121,000千円、長期未払金の返済による支出100,000千円などであります。

(4) 今後の見通し

今後の見通しにつきまして、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが2023年5月より従来の2類から5類に引き下げられたこと、海外からの入国制限緩和からインバウンド需要の回復、それに伴う一定の人流増加を踏まえ、引き続き緩やかに消費活動の回復が見込まれる想定の下、2025年8月期の予想を策定しております。

また、2025年8月期の新規出店につきましては、ラーメン事業で7店舗、レストラン事業で8店舗の計15店舗を計画しております。これらにつきましては、物件の質等も踏まえた上で実行をし、持続的な成長を引き続き追求していく所存です。

加えて、ラーメン事業におけるプロデュース部門及びレストラン事業におけるライセンス部門につきましては、2025年8月期では、合計で純増20店舗の増加を計画しております。

以上を踏まえまして、2025年8月期の予想につきましては、売上高7,896百万円、営業利益506百万円、経常利益472百万円、当期純利益301百万円を見込んでおります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、国内の同業他社との比較可能性を確保するため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

なお、国際会計基準（IFRS）の適用につきましては、今後の事業展開や国内外の動向などを踏まえた上で検討を進めていく方針であります。

3. 財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年8月31日)	当事業年度 (2024年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	666,441	1,005,752
売掛金	122,739	145,797
原材料及び貯蔵品	16,063	22,468
前渡金	979	2,628
前払費用	75,032	78,303
貸倒引当金	△891	-
その他	37,160	52,011
流動資産合計	917,524	1,306,961
固定資産		
有形固定資産		
建物	1,110,851	1,365,351
減価償却累計額	△259,094	△319,394
建物（純額）	851,756	1,045,956
構築物	384	384
減価償却累計額	△384	△384
構築物（純額）	-	-
機械及び装置	19,840	15,170
減価償却累計額	△19,840	△15,170
機械及び装置（純額）	0	0
工具、器具及び備品	191,148	234,667
減価償却累計額	△129,636	△163,390
工具、器具及び備品（純額）	61,512	71,276
リース資産	4,137	8,181
減価償却累計額	△4,137	△4,879
リース資産（純額）	-	3,302
建設仮勘定	34,224	19,693
有形固定資産合計	947,493	1,140,229
無形固定資産		
契約関連無形資産	109,090	90,909
ソフトウェア	357	93
のれん	451,499	361,199
無形固定資産合計	560,947	452,201
投資その他の資産		
長期前払費用	42,875	54,828
繰延税金資産	56,877	60,595
敷金及び保証金	334,077	406,307
その他	24,143	26,335
投資その他の資産合計	457,974	548,067
固定資産合計	1,966,415	2,140,498
繰延資産		
社債発行費	8,652	3,614
繰延資産合計	8,652	3,614
資産合計	2,892,593	3,451,074

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年8月31日)	当事業年度 (2024年8月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	186,238	222,824
短期借入金	10,000	-
1年内償還予定の社債	121,000	98,000
1年内返済予定の長期借入金	318,027	424,339
未払金	76,951	47,949
未払費用	131,338	185,622
契約負債	3,300	7,804
未払法人税等	19,737	111,627
リース債務	2,275	3,165
預り金	13,800	13,811
賞与引当金	29,955	41,740
店舗閉鎖損失引当金	8,376	-
その他	99,394	94,655
流動負債合計	1,020,395	1,251,541
固定負債		
社債	123,000	25,000
長期借入金	931,578	1,172,680
リース債務	4,361	4,829
資産除去債務	131,408	144,032
長期未払金	159,239	35,981
その他	38,255	46,755
固定負債合計	1,387,842	1,429,279
負債合計	2,408,237	2,680,820
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,000	10,000
繰越利益剰余金	474,355	760,254
利益剰余金合計	474,355	760,254
株主資本合計	484,355	770,254
純資産合計	484,355	770,254
負債純資産合計	2,892,593	3,451,074

(2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2022年9月1日 至 2023年8月31日)	当事業年度 (自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)
売上高	5,261,600	6,418,581
売上原価		
期首原材料棚卸高	10,046	15,631
当期原材料仕入高	1,809,111	2,185,065
合計	1,819,157	2,200,696
期末原材料棚卸高	15,631	21,794
売上原価合計	1,803,525	2,178,902
売上総利益	3,458,074	4,239,679
販売費及び一般管理費	3,175,056	3,789,086
営業利益	283,017	450,592
営業外収益		
受取手数料	2,901	1,045
受取補償金	-	835
保証金回収益	-	500
受取保険金	-	1,029
その他	817	513
営業外収益合計	3,719	3,924
営業外費用		
支払利息	13,934	19,183
社債発行費償却	5,038	5,038
その他	1,908	4,405
営業外費用合計	20,881	28,626
経常利益	265,855	425,890
特別利益		
固定資産売却益	-	8,000
資産除去債務戻入益	3,872	3,189
店舗閉鎖損失引当金戻入額	-	4,975
特別利益合計	3,872	16,165
特別損失		
減損損失	132,583	-
店舗閉鎖損失引当金繰入額	8,376	-
その他	1,752	-
特別損失合計	142,712	-
税引前当期純利益	127,015	442,055
法人税、住民税及び事業税	96,599	159,874
法人税等調整額	△37,807	△3,717
法人税等合計	58,792	156,156
当期純利益	68,223	285,899

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2022年9月1日 至 2023年8月31日)

(単位：千円)

	株主資本			
	資本金	利益剰余金		株主資本合計
		その他利益剰余金	利益剰余金合計	
		繰越利益剰余金		
当期首残高	10,000	406,131	406,131	416,131
当期変動額				
当期純利益		68,223	68,223	68,223
当期変動額合計	-	68,223	68,223	68,223
当期末残高	10,000	474,355	474,355	484,355

当事業年度(自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)

(単位：千円)

	株主資本			
	資本金	利益剰余金		株主資本合計
		その他利益剰余金	利益剰余金合計	
		繰越利益剰余金		
当期首残高	10,000	474,355	474,355	484,355
当期変動額				
当期純利益		285,899	285,899	285,899
当期変動額合計	-	285,899	285,899	285,899
当期末残高	10,000	760,254	760,254	770,254

(4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2022年9月1日 至 2023年8月31日)	当事業年度 (自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純利益	127,015	442,055
減価償却費	118,835	125,410
長期前払費用償却額	21,271	17,947
社債発行費償却	5,038	5,038
減損損失	132,583	-
のれん償却額	90,299	90,299
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△270	△891
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△831	11,784
店舗閉鎖損失引当金の増減額 (△は減少)	7,076	△8,376
支払利息	13,934	19,183
固定資産売却損益 (△は益)	-	△8,000
資産除去債務戻入益	△3,872	△3,189
売上債権の増減額 (△は増加)	△28,856	△23,057
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△5,295	△6,405
前払費用の増減額 (△は増加)	△2,439	△3,305
仕入債務の増減額 (△は減少)	59,558	36,585
未払金の増減額 (△は減少)	△70	6,988
未払費用の増減額 (△は減少)	31,442	54,284
その他の資産の増減額 (△は増加)	△10,968	△18,692
その他の負債の増減額 (△は減少)	37,632	13,380
その他	2,156	1,758
小計	594,239	752,797
利息の支払額	△13,899	△19,148
法人税等の支払額	△182,411	△67,983
営業活動によるキャッシュ・フロー	397,928	665,665
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△319,505	△344,931
有形固定資産の売却による収入	-	8,000
敷金及び保証金の差入による支出	△67,486	△82,137
敷金及び保証金の回収による収入	9,630	13,608
長期前払費用の取得による支出	△27,564	△36,798
その他	10,429	7,300
投資活動によるキャッシュ・フロー	△394,496	△434,958
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△10,000	△10,000
長期借入れによる収入	690,200	836,120
長期借入金の返済による支出	△383,268	△488,705
社債の償還による支出	△126,000	△121,000
長期未払金の返済による支出	△100,000	△100,000
その他	△2,068	△2,810
財務活動によるキャッシュ・フロー	68,863	113,604
現金及び現金同等物に係る換算差額	-	-
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	72,295	344,311
現金及び現金同等物の期首残高	589,146	661,441
現金及び現金同等物の期末残高	661,441	1,005,752

(5) 財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(表示方法の変更)

(キャッシュ・フロー計算書関係)

前事業年度において、独立掲記しておりました「営業活動によるキャッシュ・フロー」の「未収入金の増減額」は、金額的重要性が乏しくなったため、当事業年度においては「その他の資産の増減額(△は増加)」に含めて表示しております。この表示方法の変更を反映させるため、前事業年度の財務諸表の組替えを行っております。

また、前事業年度において、独立掲記しておりました「投資活動によるキャッシュ・フロー」の「定期預金の払戻による収入」は、金額的重要性が乏しくなったため、当事業年度においては「その他」に含めて表示しております。この表示方法の変更を反映させるため、前事業年度の財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前事業年度のキャッシュ・フロー計算書において、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の「未収入金の増減額」に表示していた△7,011千円は、「その他の資産の増減額(△は増加)」として組替え、「投資活動によるキャッシュ・フロー」の「定期預金の払戻による収入」に表示していた9,202千円は、「その他」として組替えております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1 報告セグメントの概要

(1) 報告セグメントの決定方法

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社では、商品・サービス別の事業部門を置き、各事業部門は取り扱う商品・サービスについて包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

従って、当社は事業部門別のセグメントから構成されており、「ラーメン事業」及び「レストラン事業」の2つを報告セグメントとしております。

(2) 各報告セグメントに属する製品及びサービスの種類

「ラーメン事業」では、主に「らぁ麺 はやし田」、「金目鯛らーめん 鳳仙花」、「煮干中華そば 鈴蘭」等の直営店部門及びプロデュース部門を行っております。

「レストラン事業」では、主に「CONA」、「焼売のジョー」等の直営店部門及びライセンス部門を行っております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「重要な会計方針」における記載と概ね同一であります。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報及び収益の分解情報
前事業年度(自 2022年9月1日 至 2023年8月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	合計
	ラーメン事業	レストラン事業	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	2,672,847	2,588,752	5,261,600	—	5,261,600
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	2,672,847	2,588,752	5,261,600	—	5,261,600
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,672,847	2,588,752	5,261,600	—	5,261,600
セグメント利益	225,273	57,743	283,017	—	283,017
その他の項目					
減価償却費	51,621	67,213	118,835	—	118,835
のれんの償却額	—	90,299	90,299	—	90,299
減損損失	80,574	52,009	132,583	—	132,583

(注) 1. セグメント利益の合計額は、損益計算書の営業利益と一致しております。

2. セグメントごとの資産及び負債につきましては、各報告セグメントへの配分を行っていないため、記載を省略しております。

当事業年度(自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	合計
	ラーメン事業	レストラン事業	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	3,290,437	3,128,144	6,418,581	—	6,418,581
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	3,290,437	3,128,144	6,418,581	—	6,418,581
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	3,290,437	3,128,144	6,418,581	—	6,418,581
セグメント利益	332,571	118,021	450,592	—	450,592
その他の項目					
減価償却費	54,326	71,083	125,410	—	125,410
のれんの償却額	—	90,299	90,299	—	90,299

(注) 1. セグメント利益の合計額は、損益計算書の営業利益と一致しております。

2. セグメントごとの資産及び負債につきましては、各報告セグメントへの配分を行っていないため、記載を省略しております。

【関連情報】

前事業年度(自 2022年9月1日 至 2023年8月31日)

1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦以外の外部顧客への売上高がないため、該当事項はありません。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産の金額がないため、該当事項はありません。

3 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載はありません。

当事業年度(自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)

1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦以外の外部顧客への売上高がないため、該当事項はありません。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産の金額がないため、該当事項はありません。

3 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載はありません。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前事業年度(自 2022年9月1日 至 2023年8月31日) セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。当事業年度(自 2023年9月1日 至 2024年8月31日) 該当事項はありません。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前事業年度(自 2022年9月1日 至 2023年8月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			全社・消去	合計
	ラーメン 事業	レストラン 事業	計		
当期償却額	—	90,299	90,299	—	90,299
当期末残高	—	451,499	451,499	—	451,499

当事業年度(自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			全社・消去	合計
	ラーメン 事業	レストラン 事業	計		
当期償却額	—	90,299	90,299	—	90,299
当期末残高	—	361,199	361,199	—	361,199

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

(持分法損益等)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前事業年度 (自 2022年9月1日 至 2023年8月31日)	当事業年度 (自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)
1株当たり純資産額	242円18銭	385円13銭
1株当たり当期純利益金額	34円11銭	142円95銭

- (注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの、当社株式は非上場であり、期中平均株価が把握できないため記載しておりません。
2. 2024年6月18日付で1株につき20株の株式分割を行っておりますが、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり純資産額及び1株当たり当期純利益を算出しております。
3. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前事業年度 (自 2022年9月1日 至 2023年8月31日)	当事業年度 (自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)
1株当たり当期純利益金額		
当期純利益(千円)	68,223	285,899
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る当期純利益(千円)	68,223	285,899
普通株式の期中平均株式数(株)	2,000,000	2,000,000
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定に含まれなかった潜在株式の概要	新株予約権1種類(新株予約権の数4,066個)。	新株予約権1種類(新株予約権の数4,007個)。

(重要な後発事象)

(公募による新株式の発行)

当社は、2024年9月26日付で東京証券取引所グロース市場に株式を上場いたしました。この上場にあたり、2024年8月22日及び2024年9月6日開催の取締役会において、次のとおり新株式の発行を決議し、2024年9月25日に払込が完了いたしました。

(1)募集方法	一般募集(ブックビルディング方式による募集)
(2)発行する株式の種類及び数	普通株式 432,000株
(3)発行価格	1,940円 (注) 1
(4)引受価額	1,784.80円 (注) 2
(5)資本組入額	1株につき892.40円
(6)発行価格の総額	838,080千円
(7)引受金額の総額	771,033千円
(8)資本組入額の総額	385,516千円
(9)払込期日	2024年9月25日
(10)資金使途	ラーメン事業直営店及びレストラン事業直営店の新規出店のための差入保証金及び設備投資資金に充当する予定であります。

(注) 1. 一般募集はこの価格にて行いました。

2. この価額は当社が引受人より1株当たりの新株式払込金として受け取った金額であります。なお、発行価格と引受価額との差額の総額は、引受人の手取金となります。